

研究課題名：経過観察で肺癌が発見された喀痰集検 C 判定（中等度異型）症例の解析

本研究は、公益財団法人ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長が許可した研究です。肺癌症例の喀痰標本には癌細胞のみならず中等度や高度の異型細胞も出現していますが、浸潤の浅い早期肺癌では明らかな癌細胞の出現は少数で、異型細胞の多くは中等度異型です。早期肺癌の発見率向上を目的に、喀痰集検 C 判定（中等度異型）の経過観察から発見された肺癌を、D（高度異型）E（癌）判定から発見された肺癌と比較検討を行います。

【対象と方法】1995～2009 年度の喀痰集検受診者 122,504 人のうち、C,D,E 判定から発見された肺癌 203 例について、癌発見率・病期・組織型・部位・癌発見動機・癌確定までの期間を比較します。また当施設で経過観察した C 判定からの肺癌 59 例について、やや異型の強い C 判定（経過 3 ヶ月）を C3M と亜分類し、細胞像と出現頻度を解析します。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータ分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合は、下記までご連絡ください。

研究責任者

検査部 病理・細胞診断科 副主幹 田口明美